



PTA会長
後藤 大介様

SEIBUN SUPPORTERS VOICE

生徒を支える
サポーターの声



女子ソフトテニス部顧問
堀田 絵里先生

悔いのない高校生活を！

毎日、本気で部活動に取り組んでいる姿を見ると、純粋に嬉しく思います。

親としてサポートできることは、食事などの栄養管理や送迎ですが、栄養管理は妻が行ってくれています。私が送迎の際は、子供の部活動での様子を見ることが出来るので良い機会になっています。

子供には、顧問の先生や仲間という多くの人の協力があってこそ部活動に取り組むことが出来るということを感じて頑張りたいと思いますし、その中で縦や横の繋がりの重要性をしっかり学んで欲しいと願っています。

また、校長先生をはじめ顧問の先生方の熱心なご指導の下、サッカー部は各大会で好成績を収めることが出来るようになりました。子供達が目標を達成できるよう、引き続き温かく、時には厳しくご指導をいただければと思っています。

高校生活はあっという間に終わります。悔いの無いように部活動に励んでもらいたいです。

私たちが応援します！

何事にも自分の考えを持って 取り組んで欲しい。

各部員の個性を理解して接しながら、「自分の芯を強く持ち、色々な場面で人の力になれる人間性を育成すること」を目標としています。

主役は部員一人ひとりです。部員に常に話していることは、自分の考えをしっかり持ち、視野広く行動をすること。何か自分の行動で失敗した時も、行動に対する反省だけではなく、その行動の先にある人の気持ちを考えることが大事と話しています。誰でも失敗はあります。大事なことはその後に気持ちをきちんと伝えられているかということです。また、「挨拶日本一を目指す高校」の部員として、人を元気にする挨拶、正しい言葉遣いにも取り組んでいます。

普段のミーティングでは、部員の考えを引き出し、自分の意見を言う機会を設けながら、技術面・精神面それぞれにおいて、チーム全体が成長できるよう心がけています。

私も含めまだまだ未熟ですが、部員たちと力を合わせ、更に学校を変えて行きたいと考えています。今後とも女子ソフトテニス部をよろしくお願い致します。

部活動一覧

身近なスポーツから、高校ならではの部活動まで、幅広い部活動があります。新たな分野に挑戦すること、今までの部活動を続け深めること、それぞれにやりがいがあります。

運動部



(上段左より) ライフル射撃部・陸上競技部・サッカー部(男)・ソフトテニス部(男)・バスケットボール部(男)・バレーボール部(男)・ソフトボール部(男)・バドミントン部(男)・卓球部・剣道部(男)・弓道部(男)

(下段左より) 少林寺拳法部・サッカー部(女)・ソフトテニス部(女)・バスケットボール部(女)・バレーボール部(女)・ソフトボール部(女)・バドミントン部(女)・硬式野球部・剣道部(女)・弓道部(女)

文化部



(上段左より) ダンス部・写真部・文学部・パソコン部・演劇部・ギター部・放送部・科学部・吹奏楽部・JRC(課外活動)・家政部

(下段左より) 語学部・合唱部・マンガ・イラスト部・美術部・デッサン部・華道部・茶道部・書道・ペン習字部・商業経済研究会・生文塾



東北生活文化大学高等学校

〒981-8585 宮城県仙台市泉区虹の丘一丁目18番地
Tel 022-272-7511(代表) / 022-272-7522(入試広報室直通)
Fax 022-272-7563 URL <http://www.seibun.ed.jp>



2017年11月発行

生文高の今を見つめ、未来を創る情報誌

ミライ

Vol.2

部活動編

部活動で輝く生文高

ひとりひとりに、ひとつの物語。大切な高校時代の1ページ。

先生の勧めで開けた 世界への扉

八乙女中学校でやってきたバドミントンを続けたくて、生文のバドミントン部に入部しました。

顧問の阿部里美先生の勧めで、2年生の時に障がい者スポーツパラバドミントンを初めて見ました。義手や義足をつけた方などいろんな障がいの選手がいて、上手な方ばかりでしたが、頑張れば上に行けるかもしれないと思い、自分も取



阿部先生と亀山さん

り組むことにしました。すると出場した国際大会でメダルを取ることができました。応援してくれる人のために頑張らなきゃと思うことで、生活面の意識も変わりました。まさか自分がアスリートとして国際大会に行くなんて、入学前は考えられませんでした。生文でバドミントン部に入って、パラバドミントンに出会っていなければ、今の私はありません。

今は勤めている会社に応援してもらいながら、2020年東京パラリンピック出場を目指しています。トップレベルで戦えるように体力づくりをして、いろんな国際大会で結果を残していきたいです。



profile

平成24年度 普通科 卒業生・パラバドミントン選手
亀山 楓さん 仙台市立八乙女中学校出身



東北生活文化大学高等学校

仲間達と共に歩んだ 成長の軌跡

3年間で感じられた人間的成長

中学時代県選抜で全国大会に出場したことで、レベルの高いところでやりたいと思い、生文の練習に参加したところ、先輩たちが堂々として人間性に憧れて入りました。

生文に入って人間性を磨けたと気づいたのが、3年生の秋に出場した国体でした。生文で身につけた基礎があったからこそ、違う監督の下でもしっかり話を聞いてプレーできましたし、他校の人と一緒に過ごす中、挨拶や生活態度の部分もしっかり身につけさせてもらえて良

かったと気づかされました。これから生文の女子ソフト部を目指す子もぜひ人間性を磨いて欲しいです。

私たちの代は春と夏の全国大会出場を逃し、日本一を目指していたので残念でしたが、残るものはありました。東北福祉大へ進学してソフトボールを続けますが、今まで積み上げたことは全国で通用すると分かっているので、私と同様3年間濃密な時間を過ごしてやってくる人たちに負けず、自分をしっかり持って頑張っていきたいです。



profile

普通科(3年)
菊地 夏乃子さん 仙台市立沖野中学校出身

人間性を磨いた3年間 自信を胸に大学の舞台へ

ソフトボール部

硬式野球部

中学生の時、リトルシニアチームで野球をしていて、石巻商業高のグラウンドを借りて練習をしていたのですが、そのチームのコーチから以前石巻商業高で野球部を指導された水沼武晴先生が生文野球部にいるお話を伺い、勧めを受けて生文に入りました。

3年間で野球の技術も伸びましたが、人間性の部分で成長できました。毎日のように社会に出てからの信頼性、人との関わりについて先生から指導を受けました。「裏表の無い人間になれ」「学校を変える意識を持とう」と水沼先生がおっ

しやられた言葉が今も印象に残っています。昨年秋にはコールド負けした東北高を、夏の高校野球県大会ではあと一歩のところまで追いつめることができ、成長を感じることができました。今後は大学に進学して野球を続けたいと思っています。

社会に出てからの人間性も養われますので、人間的にも成長したいという希望があれば、ぜひ生文野球部で3年間汗を流して欲しいです。



profile

商業科(3年)
三塚 広大さん 涌谷町立涌谷中学校出身

試合経験重ね、 磨き続けるGKとしての技術

ゴールキーパー

中学時代青葉FCというチームでサッカーをしていました。生文サッカー部と練習試合をやっていた時に、監督の川村聡先生から「自分はGK出身なので、GK指導にこだわっている」というお話をいただき、GKとして技術を磨けると思い、生文に入りました。

1年生から試合に出させてもらい、中学時代と全然違うスピード感を体験できました。そして週1回、G



Kだけのトレーニングを行うのですが、自分はキャッチに課題があって、その他のプレーも図抜けて上手いわけではありませんでした。しかし徐々に手応えを感じられるようになり、難しい高いボールの処理も半年くらいかかってうまくできるようになりました。県外遠征など試合経験を多く積めて、県外の丁寧パスをつないでくる強豪チームとも対戦し、勉強できました。今後はスーパーシュート以外は全部止められるような、元ベガルタ仙台GK林卓人選手のような選手になりたいです。



サッカー部



profile

普通科(2年)
後藤 大信さん 仙台市立西山中学校出身

コンクール出場に向け 新しい伝統を作る日々

生文の商業科で就職・進学のために役立つ資格をたくさん取りたいと思い、入学しました。中学校の時から吹奏楽部で木管楽器、クラリネットをやっていて、夏のコンクール、アンサンブルコンテストで県大会にも出場しました。元々音楽が好きで、高校に入っても続けたいと思って吹奏楽部に入部しました。

以前はコンクールに出場したことのなかった吹奏楽部でしたが、昨年から佐藤諒平先生が楽器の指導をしてくださることになり、コンクール出場を目指して練習することになりました。私たちの代からは基礎練習も始まり、課題である音量アップ



の克服に努めています。今はアンサンブルコンテストに向けて部員全員頑張っています。先輩たちがやってきたことに加え、今新しい伝統を作ろうとしています。部員の1／3は初心者ですし、楽器が好き、演奏が好きで、笑顔と気持ちを音に表したい子にぜひ生文吹奏楽部に入ってもらいたいです。



profile

商業科(2年)
川原田 珠莉さん 仙台市立将監東中学校出身

吹奏楽部